様式１

北海道美唄尚栄高等学校の行動計画（グローカル・アグリハイスクール宣言）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和３年度に重点化する取組及び具体的方策		
「５つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
Ⅰ グローカル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	（１）農業技術検定の全員受験を実施し、食と農に関わる知識、理解を深めます。 （２）食品衛生責任者の講習を校内実施し、２年間で選択者全員取得を目指します。	B	（１）検定の校内実施を行い、「農業と環境」選択者全員が３級を受験でき、２級も受験できるような整備を行います。 （２）食品衛生責任者の講習に備えた学習を実施する。
	②「世界と日本をつなぐグローカル」教育を行います。	（１）授業をとおして世界の環境問題への取り組みや食に関する規格について学習し、それを本校の食品製造に生かします。	B	（１）製品生産活動にＨＡＣＣＰの考え方を導入し、理解を深めます。 （２）SDGsを取り入れ、学校でできる目標の設定をし、実践する。
Ⅱ 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	（１）農業クラブ活動をとおして、地域農業の理解者、応援者を育成します。	A	（１）研究活動、販売活動、交流や連携活動で地域の方々と交流する場を多く提供します。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	（１）地域学習をとおして、地域産業を理解、応援支援できる生徒の育成を行います。	A	（１）地域学習を深めるために、地域農業の視察研修を行います。 （２）地場産業の収穫体験を行います。 （３）地域の行事に積極的に参加します。
Ⅲ 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	（１）環境に負荷をかけない、安全・安心な製品を製造します。	A	（１）製造から販売を通して食品ロスなくすよう目標を立てて実施します。
	⑥「食農」教育を推進します。	（１）地域の食育活動に参加し、食の大切さを伝えることができる人材の育成に努めます。	A	（１）稲作やジャム作りをとおした食育活動に、クラブ員全員参加する場を提供します。
Ⅳ 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	（１）地域の資源の活用に取り組み、商品化を目指します。	A	（１）地域の特産物や、羊乳などの有効活用に関わる研究に取り組みます。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	（１）実習施設を活用し、食をとおして交流の場をつくります。	A	（１）販売活動で掲示物を活用し情報発信能力を高めます。 （２）施設を活用した交流事業をを行います。
	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	（１）地域と連携し地域課題に取り組みます。	A	（１）プロジェクト学習、農業クラブの取組の中で、市役所、地元農業協同組合、西川農場との連携を通し、研究を行います。
Ⅴ 地域防災を推進する学校	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	（１）実習に関わる安全教育の徹底。 （２）火災と地震に対しての防災知識を深めます。	A	（１）実習服・使用器具の安全的な使用の指導を行います。 （２）火災と地震をそれぞれ想定した避難訓練を実施します。